

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 剖検例における冠動脈ステント病理解析レジストリー

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 若林康 (循環器科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：実施承認後～2025年9月30日

目的：冠動脈ステントにおける血栓、再狭窄のメカニズムを究明するために、病理標本の観察、免疫染色等、画像データ (血管内イメージングデバイスを含む) を含めた患者データを病理標本とともに解析することで日本の冠動脈インターベンション領域の発展を目指すために行います。

方法：既存情報・試料を用いた観察研究

■ 対象となる患者さん

2014年1月～2015年12月に当院で冠動脈ステント留置後に病理解剖 (剖検：ぼうけん) を受けられた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、体表面積、心不全の重症度判定 (Killip分類)、血液検査結果、ステント留置日、画像データ等

■ 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行いません。共同研究機関に提供される情報に関し、匿名化した状態で送付されるため、個人を特定できる情報は提供されません。当院が管理する試料・情報・作成した対応表については施錠された場所において適切に管理されます。

■ 研究組織

研究代表者・研究事務局

東海大学医学部内科学系 講師 伊地知 健 (東海大学医学部附属病院 循環器内科)

参加施設 (2022年3月時点)

東海大学医学部附属病院

神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 循環器内科分野

愛媛県立今治病院 循環器科  
福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座  
相模原協同病院 循環器内科  
自治医科大学さいたま医療センター  
北海道大学大学院医科学研究科 腫瘍病理学  
帝京大学医学部 循環器内科  
浜松医科大学医学部附属病院  
聖隷三方原病院 循環器科

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
若林康、循環器科  
電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971